

取得希望	取得免許状(4年後期)

氏名		学籍番号	
学部・学科			
作成開始日	年 月 日	最終提出日	年 月 日

総合評価 (教員側記入欄)
年 月 日
教員氏名

※司書教諭(図書館学課程)、社会教育士(社会教育主事課程)や、他大学等で習得中の希望免許も合わせて記入すること

1. 教育実習の実施状況(教育実習終了後に記入)

修得年度	
実施期間	
実習先	
実習を終えて明らかになった自分の課題	
上記の課題を克服するための学習目標と計画	

2. 教職に関する学外での学習体験、ボランティア体験等の状況

活動の内容と学んだこと

3. 資質能力に関する状況(教育実習前、教育実習後、教職実践演習終了時に記入)

自己評価欄に当てはまる数字を記入  
※1:できない 2:あまりできない 3:どちらともいえない 4:ある程度できる 5:とてもよくできる

区分	指標	自己評価		
		教育実習前	教育実習後	教職実践演習終了時
亜細亜10項	亜細亜10項を熟読し、実行している			
社会性とコミュニケーション能力	挨拶、服装、言葉遣い、他者への接し方等に関する社会人としての基本的なマナーを身につけている			
	自らのメンタルについて理解し、他者と積極的に交流して自身の意見を伝え、共同して作業を行うことができる			
	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得ながら課題に取り組むことができる			
	集団において率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をしっかりと果たすことができる			
	体罰禁止、個人情報の保護、不祥事防止等に対する自制意識を身につけ、法的根拠をふまえた行動ができる			
	グローバルな視点から教育諸課題を捉え、主体的かつ俯瞰的に判断し行動できる			
課題探求	児童・生徒の実態や状況を把握し、各自の良さや可能性を引き出し伸ばす能力の素地を身につけている			
	自らの課題を自覚し、向上心をもって学び続ける姿勢を持っている			
	現代社会と教育をめぐる今日的な課題(SDGs,LGBTQ+等)に対して関心を持ち、自分なりの意見を持つことができる			

4. 教職実践演習の履修状況(教職実践演習授業終了後に記入)

教職実践演習で学んだ内容、授業の感想、自分自身の課題(教育実習を終えて明らかになった課題等)に対する学習目標の達成状況等

5. 教養科目のうち教養課程において必修となる科目(修得年度の次年度までに修得年度、成績、授業の振り返りを記入)

区分	必要な科目名	履修科目名	単位数	修得年度	成績	授業で習得した内容、授業の感想、授業内容に対する自分自身の課題などを簡潔に記載する
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(共通)	日本国憲法	暮らしの中の憲法	2	R8	S	日本国憲法についての学習内容を通して、国民としての義務と責任について認識を新たにした。教育者として常に意識し、今後の教職に生かしていく。
	体育		1			
	体育		1			
	外国語コミュニケーション		2			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		2			

6. 教職に関する必修科目の履修状況(授業終了時と教育実習後に自己評価)

自己評価欄に当てはまる数字を入力 1:できない 2:あまりできない 3:どちらともいえない 4:ある程度できる 5:とてもよくできる

区分	科目名	単位数	修得年度	成績	指標	自己評価	
						授業終了時	教育実習後
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	R8	A	教育の理念および教育に関する様々な思想や理論、教育の歴史について理解している	4	5
	教職入門	2	R8	A	教職の意義や教員の役割、職務内容を知り、子どもに対する教員の責務や倫理観について深く理解している	3	4
	教育社会学	2			教育に関する社会的、制度的、経営的事項を認識し、広い視野から現代社会の教育について考えることができる		
	教育心理学	2			子どもの心身の発達及び学習の過程についての基礎理論、知識を習得している		
	特別支援教育概論	2			特別な支援を要する子どもの学習上または生活上の困難を知り、個別の教育的ニーズに対する支援方法を理解している		
	教育課程論	2			教育課程の意義と内容について理解し、その編成方法を習得している		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践(中学免許)	2			道徳教育の基礎理論を理解し、指導方法を習得している		
	総合的な学習の時間の指導法	2			総合的な学習の時間の意義を理解し、指導計画作成の考え方や指導方法および評価の方法を習得している		
	特別活動論	2			特別活動の意義と内容について理解し、指導方法および評価方法を習得している		
	教育方法学(ICTの活用含む)	2			教育方法の基礎理論を理解し、教育方法および情報機器の活用に関する知識と技能を習得している		
	生徒・進路指導論	2			生徒指導および進路指導の基礎理論を理解し、指導方法を習得している		
	教育相談	2			カウンセリングに関する基礎的な知識を習得し、教育相談の理論および方法を身につけている		
各教科の指導法に関する科目	社会科教育法I	2			取得する免許に関する専門的な知識、技能、教材の適切な活用、話し方や板書方法、わかりやすく授業を展開する力を身につけている		
	社会科教育法II	2					
	社会科・公民科教育法I	2					
	社会科・公民科教育法II	2					
	商業科教育法I	2					
	商業科教育法II	2					
	英語科教育法I	2					
	英語科教育法II	2					
	英語科教育法III	2					
	英語科教育法IV	2					
	保健体育科教育法I	2					
	保健体育科教育法II	2					
	保健体育科教育法III	2					
	保健体育科教育法IV	2					
TOEIC 獲得点数(英語科)	1年前期		2年前期		3年前期		4年前期
	1年後期		2年後期		3年後期		4年後期
その他(読書課題等カルテ記入の指定がある場合に記入)							

区分	科目名	単位数	履修年度	成績	科目名	単位数	履修年度	成績
実習に関する科目	教育実習指導(3年次後期)	2			教育実習I(中学免許)	5		
	教職実践演習(4年次後期)	2			教育実習II(高校免許)	3		

7. 教科に関する科目(各教科の指導法に関する科目)、大学が独自に設置する科目の履修状況(修得年度の次年度までに修得年度、成績、授業の振り返りを記入、修得状況に合わせ行を追加して作成すること)

区分	科目名	単位数	履修年度	成績	授業で習得した内容、授業の感想、授業内容に対する自分自身の課題などを簡潔に記載する
教科に関する科目(各教科の指導法に関する科目)	体育実技総合(陸上競技)	1	R8	S	陸上競技の理論と技術、トレーニング方法などを学び、競技ルールや指導上の安全配慮に関することを学んだ
	スポーツ原理	2	R9	A	体育・スポーツの歴史や理論について深く学び、健康とウェルビーイングな社会の実現に向けた教育の役割についても考える機会を得た。
大学が独自に設置する科目	介護等体験の意義と実践	2	R10	A	老人デイサービスセンターでの介護体験、特別支援学校での障害のある生徒との関わりにおいて人権意識やコミュニケーション方法の工夫について深く考えた。
	道徳教育の理論と実践(高校免許)	2			
	教育ボランティア ※2単位まで修得可	1			